



新年特別号
2021年
1月1日
定価1部600円
定期購読
半年 5400円
1年 10000円
振替番号
00140-5-95121

日本労働党中央委員会
発行所 労働新聞社
編集発行人 高橋 信
本社 〒101-0051
東京都千代田区飯田橋4丁目
1-5 ボザール飯田橋2階
電話 03-3265-6506(代)
FAX 03-3265-6507

北海道支社 〒001-0033
札幌市北区北33条西6丁目
1 10 206
電話 011-558-4441

関西支社 〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-8-29
チサン第3新大阪501号
電話 06-6586-9920

九州支社 〒812-0042
福岡市博多区豊1-3-8-302
電話 092-483-1344

労働党ホームページ
http://japanlabor.party/
Eメールアドレス
shinbun@japanlabor.party

お知らせ

本年もよろしくお願ひいたします
本号は新年特別号として、旧年の12月25日号と1月5日号の合併号です。
なお、1月15日号と1月25日号は合併号として1月25日に発行します。

労働新聞社

大隈議長、世界を語る

新年に際し、「労働新聞」編集部は、大隈鐵二・党中央委員会議長にインタビューを行った。大隈議長は、コロナ危機が加速させた「社会革命の時代」についてなど、大局を中心に縦横に語った。紙面の都合で一部を割愛したが、以下、編集部の責任で掲載する。(聞き手・大嶋和広「労働新聞」編集長)

大嶋 明けましておめでとうございます。
大隈議長 おめでとございます。

大隈議長 おめでとございます。それが、礼儀正しいわが編集長に言つのもなんですが、公私とも「新年おめでとう」気分ではないんだな。いや、失礼、失礼！
私の党的任務という役割からすると、例年この時期(年末・年始)は大変なんです。朝から晩まで、ろくにメンも食わずに、ですね。パソコンなど情報機器の前に座って、データベースや関連記事、その他、「資本主義の危機」を叫んでいる投資家、企業家、学者や識者のいわゆる「ステークホルダー資本主義論」を読まされ、世界銀行、国連、国際通貨基金(IMF)、政府統計をアークセスやエクセルで分析する毎日なんだね。編集長にはかなわんが、いちばん頭にくるのは「ステークホルダー論」の関連で、投資家や企業家が心にもないウソをつくこと。
「日本でも幸せやウェルビーイングの重要性が叫ばれています。京セラ

「コロナ禍と歴史の加速化」について

大隈議長 私はインタビューを毎年のようにやっているんですよ。ただ、一年が過ぎるのは早いんですよ。あつという間ですね。
昨年インタビューをやったとき、実際は一昨年の暮れですが、当時はコロナ禍が起きるとは夢にも思わなかった。
ただ、下部構造でいうと、一七八年頃から経済が落ち込んでいた。その大きなきっかけは、中国で世界の経済成長や株価に大きく響くようになった。
もう一つ、技術革新の急速な進展です。
私は何年前かに「限界費用ゼロ社会」を取り上げて話しました。その頃から、さらにスピードが速まり、人工知能(AI)の進化などが加速しました。新春講演会は、それを前

返って頭や顔をコンクリートにぶつけた。顔から血が噴き出し、またまたまた人に助けてもらい、やがて駅関連のクリニックで大騒ぎに。とんだ誕生日祝い、天罰かな。二つの会議で四日間を経て、九州に帰って脳の検査をして、今のところ「異常なし」です。丹下左膳のようだった顔も、癒えてだいぶ見やすくなった(笑)。

大隈議長 私はインタビューを毎年のようにやっているんですよ。ただ、一年が過ぎるのは早いんですよ。あつという間ですね。
昨年インタビューをやったとき、実際は一昨年の暮れですが、当時はコロナ禍が起きるとは夢にも思わなかった。
ただ、下部構造でいうと、一七八年頃から経済が落ち込んでいた。その大きなきっかけは、中国で世界の経済成長や株価に大きく響くようになった。
もう一つ、技術革新の急速な進展です。
私は何年前かに「限界費用ゼロ社会」を取り上げて話しました。その頃から、さらにスピードが速まり、人工知能(AI)の進化などが加速しました。新春講演会は、それを前

提にして話したんです。だから、実はその時にも、もうコロナ問題は始まっていたんですよ。始まっていたがまださほど表面化していない、というようなことで、コロナがこれほどの問題になってくるというところは、インタビューの時に予想もなかった。だから、一七年以降の世界の現状などを話しているんです。
だから、今回話すにしても、コロナだけでなく、非常に歴史のスピードが速まっているというところ、何が起こるか分からない。今話しても、年が開けて、読者に新聞が届くころには、別の予想もしないことが起きている可能性は否定できない。そのぐらい、世界の動きが速いですね。
そついつつわけで、いろいろと考えることが多いですね。それを前提に



日本労働党中央委員会議長・大隈鉄二同志



(2面に続く)